

## (教職員による)自己評価結果(学校運営)集計用紙

平成26年度重点テーマ	自己評価に基づく総合的学校運営および教育の改善
目標(ねらい)	教育目標を達成するために、学校運営の改善を図る。

分類	評価の観点	評価項目	設問	A	B	C	D
学校運営	私学の独自性	教育目標について	教育目標が教職員、生徒、保護者など、学校関係者によく浸透している。	8%	46%	40%	6%
		愛校心について	在校生、卒業生は学校に誇りを持っている。	5%	44%	47%	4%
	教育課程	学習指導要領の対応状況	教育課程は学習指導要領に沿っている。	22%	65%	10%	2%
		教育計画について	年間を通じた教育計画を各教科別に立てている。	33%	60%	7%	0%
	教職員連携	教員・教科間連携状況	教員間教科間の相互理解がなされ、信頼関係に基づいて教育活動が行われている。	10%	52%	27%	11%
		教員と事務職員の連携状況	教員と事務職員の情報交換の機会があり、相互理解、連携はとれている。	12%	43%	31%	14%
		会議の有効性	教職員会議をはじめ各種会議が有効かつ効率的に機能している。	8%	43%	37%	12%
	財務関係	財務に関する意識	学校の経営指標と財務状況について理解している。	2%	23%	49%	26%
		財務状況の把握について	予算、決算の収支の状況について理解している。	2%	19%	54%	26%
		評議員・理事会機能について	評議員会、理事会の役割や機能について理解している。	3%	23%	51%	24%
	情報公開	ホームページの活用状況	学校ホームページで可能な範囲の情報公開をしている。	26%	56%	15%	3%
		授業公開状況	保護者などへ授業を公開している。	1%	10%	30%	59%
	危機管理	役割分担について	事故、事件、災害時に対処する役割分担が明確にされている。	9%	56%	32%	3%
		危機管理対応状況	危機管理マニュアル、警察、消防との連携、訓練など学校の安全対策は十分とられている。	10%	48%	37%	5%
	開かれた学校づくり	地域交流について	地域や地域住民との交流ができている。	2%	35%	46%	16%

学校長所見 及び 今後の課題・ 改善方策等	<p>各学科の持つ特性を生かした教育目標を掲げているが、浸透できていない面がうかがえる。様々な場面において浸透を図っているが、今後はさらなる浸透を図らねばならない。</p> <p>また、学校を良くするためにも挨拶運動にも力を入れていきたい。また、財務状況について理解ができていない。説明を行ってはいるが表面的になっているようである。さらなる理解を深めてもらうための努力が必要である。</p> <p>授業公開については、先生方の協力を得ながらまずは学校内での教師力アップを目指して公開授業を実施するところから始め、校内整備から取り組む必要がある。このことからひいては教職員の連帯の一助としたい。</p> <p>地域社会との結びつきについても十分にできていない。今後の対外活動についても検討していかなければならない。</p>
--------------------------------	--